

平成 30 年度日野市平和事業

# 平和派遣事業成果報告書

< 沖縄・長崎・広島 >



日 野 市



# 目次

1 平成30年度日野市平和事業.....	2
(1) 日野市平和講演会 .....	2
(2) 平和展「日本非核宣言自治体協議会『ミニミニ原爆展』」 .....	2
(3) 平和映画の集い「夕凧の街 桜の国」 .....	3
2 平和派遣事業の趣旨・目的.....	4
(1) 平和派遣事業 .....	4
(2) 平和派遣事業報告会 .....	4
<b>派遣者発表 沖繩</b> .....	5
潤徳小学校 1年 横須賀 理人さん 保護者 横須賀 玲子さん .....	6
豊田小学校 4年 小峰 和英さん 保護者 小峰 とも子さん .....	8
日野第七小学校 5年 長友 秀美さん 保護者 長友 成美さん .....	10
日野第六小学校 6年 白井 瑠花さん 保護者 白井 幹子さん .....	12
三沢中学校 2年 山崎 涼さん 保護者 山崎 理恵さん .....	16
<b>派遣者発表 長崎</b> .....	19
日野第六小学校 5年 成澤 楓さん 保護者 成澤 千佳さん .....	20
<b>派遣者発表 広島</b> .....	23
潤徳小学校 3年 横須賀 悠人さん 保護者 横須賀 玲子さん .....	24
豊田小学校 4年 須藤 光琉さん 保護者 須藤 智徳さん .....	27
日野第六小学校 5年 川添 優香さん 保護者 川添 美香さん .....	29
三沢中学校 1年 柴田 優太さん 保護者 柴田 美由紀さん .....	32
3 来場者アンケート .....	36
4 日野市民憲章／日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 .....	37

# 1 平成 30 年度日野市平和事業

日野市では、毎年 8 月を平和月間と定め、平和推進を掲げるさまざまな事業を行っています。平和事業として行われるもののほかにも、教育、福祉など、様々な角度から平和に繋がる取組みを行っていますが、ここでは平和事業として行われたものの一部を掲載します。

## (1) 日野市平和講演会

広島市から被爆体験伝承者の方を招き、被爆体験者から受け継がれた貴重なお話を伺う講演会を開催しました。

日 時 平成 30 年 7 月 14 日 (土) 14 時 00 分から 15 時 30 分まで  
場 所 多摩平交流センター 3 階 集会室 6  
講 師 被爆体験伝承者 村輿 久美子さん  
参加費 無料  
参加人数 40 名



右写真  
平和講演会で講演中の村輿さん

## (2) 平和展「日本非核宣言自治体協議会『ミニミニ原爆展』」

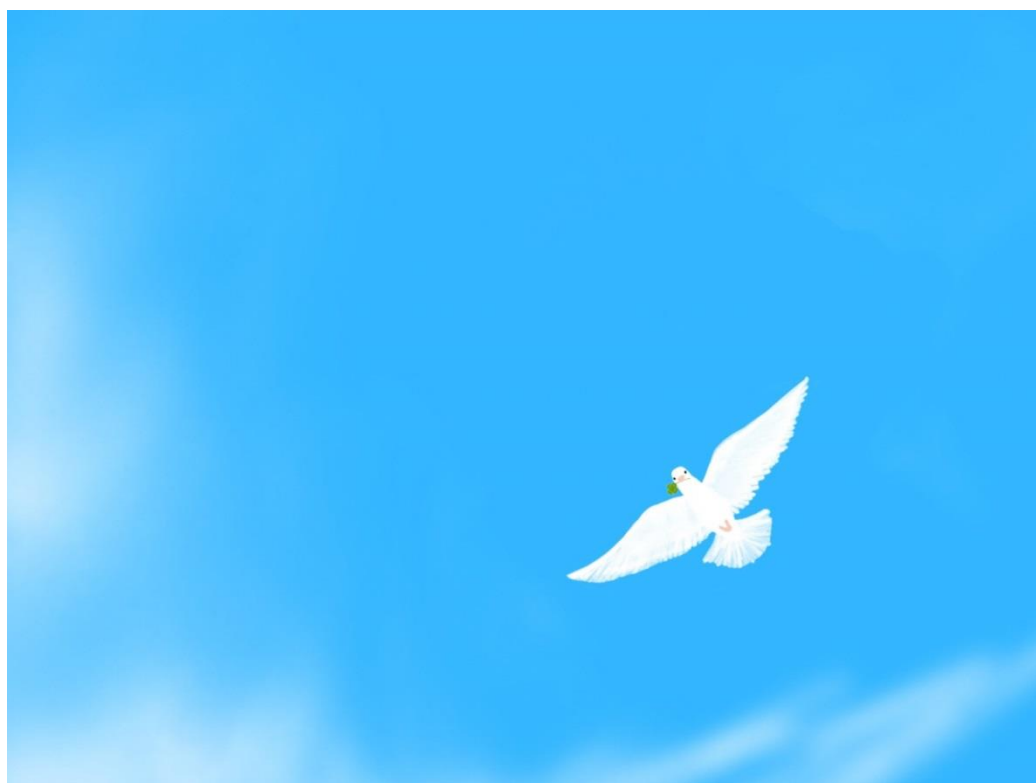
毎年テーマを変えながら、日野市三大拠点のひとつである京王高幡ショッピングセンターの南北通路と日野市役所本庁舎にて写真パネルを展示しているものです。本事業は、平成 10 年から開催していますが、今年は日野市も加盟している日本非核宣言自治体協議会から「ミニミニ原爆展」のパネルをお借りして、原爆の被害、落とされた前後の広島・長崎の風景などを展示しました。

日 時 ①平成 30 年 8 月 7 日 (土) から同月 15 日 (水) まで  
②平成 30 年 8 月 21 日 (火) から同月 27 日 (月) まで  
場 所 ①京王高幡ショッピングセンター南北通路  
②市役所 1 階 101 会議室

### (3) 平和映画の集い「夕凧の街 桜の国」

映画を通じて平和への意識啓発や、平和を再認識する機会として、昭和 61 年以降毎年開催しています。今年は昨年上映した映画「この世界の片隅に」と同じこの史代氏の原作である「夕凧の街 桜の国」を上映しました。また、平和派遣事業に参加された皆様による報告会を同日に開催しました。

日 時 平成 30 年 8 月 26 日（日） 13 時 30 分～  
場 所 ひの煉瓦ホール（日野市民会館）大ホール  
参加費 無料



## 2 平和派遣事業の趣旨・目的

平成 26 年から始まった日野市平和派遣事業は、第二次世界大戦下で多大な戦火に遭った「広島」「長崎」「沖縄」の各所に、市内在住の小中学生及びその保護者を派遣し、平和について学んでいただく事業です。また、学んでいただいた内容を発信し、広く市民と共有していただくことで、二次的な平和意識の伝播を促進し、日野市民全体への平和意識啓発を図っています。

### (1) 平和派遣事業

派遣期間 平成 30 年 7 月～8 月

派遣先 広島、長崎、沖縄

派遣者 下表のとおり

(発表順、敬称略)

派遣先	派遣児童生徒	保護者
沖縄	横須賀 理人	横須賀 玲子
	小峰 和英	小峰 とも子
	長友 秀美	長友 成美
	白井 瑠花	白井 幹子
	山崎 涼	山崎 理恵
長崎	成澤 楓	成澤 千佳
広島	横須賀 悠人	横須賀 玲子
	須藤 光琉	須藤 智徳
	川添 優香	川添 美香
	柴田 優太	柴田 美由紀

### (2) 平和派遣事業報告会

映画の集いと同日に開催し、お集まりいただいた皆様に、派遣された皆様の思いを發表していただきました。それぞれが感じた生の声に対し、それぞれが平和への思いを馳せました。

日 時 平成 30 年 8 月 26 日 (日)

会 場 ひの煉瓦ホール (日野市民会館) 大ホール

# 派遣者発表 沖縄



沖縄にいてまなんだこと

沖縄は、日本の地上で、戦争が行われたただひとつの場所です。僕は、沖縄の「平和祈念公園」に行きました。公園には、沖縄を中心とした地図に、平和の火が灯されていました。この火は、広島や長崎から火種をもらい、この沖縄で平和を願い、灯されています。

73年前、このきれいな沖縄で、戦争が行われていたことが、はじめは信じられませんでした。

沖縄平和祈念公園の資料館では、今のきれいな海からは想像もつかないくらい、焦げている町並みの写真や、戦争の写真や、沖縄に残された不発弾の模型を見ました。

沖縄戦での犠牲者の数は、20万人だそうです。祈念公園には、戦争で亡くなった人たちの名前が書かれた平和の礎があります。今も名前は書き足されています。20万人という数は、僕のクラスよりも多くて、通っている小学校の生徒の数よりも多くて、日野市に暮らしている人の数よりも多いと知って、すごくびっくりしました。

沖縄に行く前は戦争は、武器を使った戦いだと思っていたけど、実際に、行って、戦争について知っていくと、亡くなった人の数も多くて戦争は本当に怖いもので、やってはいけないことだと思いました。





## 沖縄についてまなんだこと

横須賀 理人

### 沖縄のきれいな海



### 平和の礎(いしじ)



沖縄の戦争でぎせいになった人の数は、20万人いじょうでした。  
これは、日野市の人口の18万人よりもおおい数です。

### 沖縄はどんなばしょか

日本でただひとつ、戦争がおこなわれたばしょでした。



平和の灯(平和祈念公園)

### 平和祈念公園(へいわきねんこうえん)



全国で初めて文化財に指定された戦争遺跡の沖繩陸軍病院・南風原壕群<sup>はえぼる</sup>20号、南風原文化センター、糸数アブチラガマ、ひめゆり平和祈念資料館、平和祈念公園に行きました。

南風原壕群20号は、長さ約70メートルの人工の壕です。ここは、第二外科の中心的な壕でしたが、手術は、ランプの薄明かりのもと、麻酔も不足していたため衛生兵やひめゆり学徒に体を押しえつけられながら体に突き刺さった爆弾の破片を取り除いたり、重傷の手足を切断するというものでした。食事は、途中からはピンポン玉ぐらいの大きさのものを1日に1個しか食べることができませんでした。米軍がこの壕近くに迫ってきたため、1945年5月25日以降、糸満市あたりに逃げる時に自分で歩けない重症患者は助けるどころか、ミルクに猛毒の青酸カリを入れて配ったのです。どんなに苦しかったことでしょう。

壕の見学の後は、南風原文化センターに行き、壕の中の2段ベッドが体験台として再現されていたので僕も横になってみました。布団もないので固く、薄暗く痛さに苦しむうめき声、水をほしがらる声、糞尿や死体のおいなどがあつたと思うと、息苦しくなりました。

別の日に糸数アブチラガマの見学もしました。ここは、全庁270メートルの自然洞窟です。このガマは住民の避難指定場所で日本軍の地下陣地・倉庫、南風原陸軍病院の分室となり、ここでもひめゆり学徒は水を運んだり、手術で切断した手足を捨てに行ったり死体の埋葬もしました。そして、米軍が迫ってくると自分で歩くことができない人達は置き去りにされて、食料・水もなく死を待つというのはどんなにつらく悲しかったことでしょう。

米軍が間近に迫った6月18日夜、「解散命令」が出され、学徒たちは米軍の包囲する戦場に放り出されました。ひめゆり平和祈念資料館では、そんな学徒たちの証言VTRや沖繩戦で亡くなったひめゆり学徒の写真などの展示がありました。そして、沖繩に行く前に「これからもずっと平和が続くように」と思いながら折った千羽鶴を奉納しました。

大自然・きれいな海がある沖繩で73年前にこんな悲しい出来事があったことを知って、ますます命の大切さを感じました。

## 平和派遣事業報告

沖縄  
平成30年度

### 見学先

- ・ 沖縄陸軍病院・南風原壕群20号
- ・ 南風原文化センター
- ・ 系数アブチラガマ
- ・ ひめゆり平和祈念資料館
- ・ 平和祈念公園

#### 沖縄陸軍病院・南風原壕群20号



#### 南風原文化センター



#### 系数アブチラガマ



#### ひめゆり平和祈念資料館



#### 平和祈念公園



私は4年生のとき、沖縄は日本で唯一、地上戦が行われたところであると勉強しました。実際、沖縄のいろいろな資料館で見た戦争は、悲惨で、残酷で、何一ついいことがないと思いました。苦しくて、悲しくて、怖いだけです。

生き残った人が描いた戦争のときの絵は特に印象が残りました。敵に見つからないように、殺されたたくさんの方の死体の山にかくれている絵です。

映像で見たものでは、敵のアメリカ兵と捕虜になった赤ちゃんです。アメリカ兵は赤ちゃんに優しい笑顔を向けていました。アメリカのひともこんな戦争をしたかったわけじゃないんだと思いました。

米軍の核ミサイルの発射台が残されているメースB基地跡にも行きました。アジアの国に向けて核ミサイルの発射台を作ったそうです。1つの核ミサイルで広島や長崎に落とされたものより破壊力のあるものを何基も配置していたそうです。

隣の国が自分の方に向けて核ミサイルを用意していると知ったら、腹もたつし、怖いし、どうしていいかわからないし、ほんとうに嫌な気持ちになると思いました。

今は人間の犯した愚かな行いを忘れないように、発射台をそのまま残してアジアの国に向けて平和の像が建てられていました。

沖縄を車で走るとカーナビには地図のない灰色のところがたくさんあり、それは米軍の基地でした。針金のとがったものがフェンスの上についていました。「この基地の中には何があるの?」と聞いたら、「すぐに戦争ができるものが用意されていると思う。」とお母さんが言いました。訳がわからなくなりました。どうしてなんだろうと思いました。

戦争をしないで、みんなが仲良くしていける沖縄の言葉があるそうです。「いちゃりばちょーでー」という言葉です。「出会った人はみんな兄弟だと思って大切にしていくなだよ」という意味だそうです。また「ぬちどうたから」という言葉で、「ひとりひとりの命が一番大事だよ」という意味だそうです。

私は沖縄にいて、戦争は絶対してはいけないと思いました。平和のために友達や家族を大切にしていこうと思いました。

発表資料



私のおばあちゃんは今年 75 歳です。おばあちゃんの生まれたころの出来事のひとつが太平洋戦争でした。そこで詳しく学んでみたいと思い沖縄に勉強に行きました。なぜ沖縄を選んだかという、太平洋戦争で唯一日本本土にアメリカ軍が上陸して地上戦があった場所であり、女子学生がともに戦っていたということを知ったからです。

アメリカ軍の上陸作戦を知るために「旧海軍司令部壕」、女子学生の戦いを知るために「ひめゆりの塔」を見学したので発表します。

#### ・旧海軍司令部壕について

アメリカ軍は日本本土を攻撃するのに、沖縄を占領して攻撃の拠点にするのに都合が良いと考えました。日本軍は攻撃に耐えて持久戦を続けるために、地下に陣地を作りました。それが旧海軍司令部壕です。

ここには 4,000 人の兵士が収容されていました。私の通っている第六小学校の全校生徒が約 700 人なので 6 倍くらいの大人が入っていたとは思えないくらい狭いところでした。兵士たちは立ったままで睡眠や休息を取っていたようです。

壕の中には作戦を立てる「作戦室」、出動命令を出す「幕僚室」「暗号室」「信号室」などがありました。

戦争では暗号を作って敵に作戦がわからないようにするのですが、当時アメリカ軍は日本の暗号を解読出来ていたようで、日本軍の考えていることは知られていたと聞きました。

また幕僚室には、手りゅう弾で自決した時の跡が生々しく残っていました。戦争で亡くなった方のいる場所に今いるんだと背中がゾクゾクするのを感じました。

この壕はアメリカ軍の上陸攻撃で「火炎放射器」により火あぶりにされました。

人間が兵器を使って目の前にいる人を焼き殺すという上陸攻撃の様子を想像すると、私は気持ちが重たくなりました。

#### ・ひめゆりの塔について

沖縄戦の時に 2 つの女子学校の生徒と先生の合計 240 人が陸軍病院の看護要員として作られた学徒隊のひとつです。

病院とはいえ、アメリカ軍の侵攻により地下壕に移り、まともな医療機器もなく、医療の知識もない女子学生には、とてもつらい仕事でした。

重傷患者の食事介助や汚物処理、その他に手足切断手術の手伝いや遺体埋葬まで行っていたのです。

ケガ人が多すぎて麻酔なしで手術することもあり、「死んだほうがましだ！殺せ！殺せ！」と暴れだす兵隊さんを押さえつけて手術することもあったそうです。そんな状況にしばらくいると切断された手足を見るのも平気になっていったそうです。

そして戦況が悪化すると日本軍から急に解散命令が出され「今日から自分たちの判断で行動せよ」と想像もしていなかった言葉を耳にしたのです。

看護で辛い思いをし、敵の前に放り出された気持ちはどんなものだったのか、私には想像ができませんでした。

この沖縄の戦争で日本人は18万8千人亡くなりました。日野市の人口は18万5千人です。ほぼ同じ数です。これだけの人が3か月余りで亡くなったのです。

何のために戦争をしたのだろう。

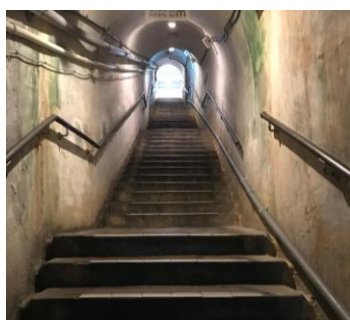
ただひとつわかっていることは、この人たちがいて今の私達がいるという事です。

## 発表資料



ひめゆりの塔

旧海軍司令部壕

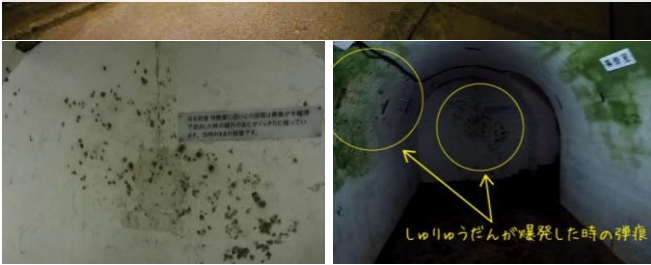




暗号室 信号室



暗号 アメリカ軍に日本の暗号は解読されたいた



しゅりゅうだんが爆発した時の弾痕



火炎放射器を使うアメリカ軍



幕僚室 自決した時に使用した手りゅう弾の跡が壁に残っている



ひめゆり学徒隊



陸軍第3外科壕の入り口



陸軍 第3外科壕の断面

断面 SECTION



第3外科壕の様子と医療器具

- ・動員から解散まで3か月
- ・アメリカ軍侵攻により南下







ひめゆり学徒隊に解散命令が出て、敵の前へ放り出された



### 平和記念公園

国籍問わず戦没者全ての名前を刻んだ記念碑。  
この場所から世界平和を見守っている

・日本人戦没者数  
約18万8千人

(右の写真の数はアメリカ人12,520名の戦没者を含んでいる)



平和の大切さを勉強しました。



## 沖縄での戦争を学びに

沖縄での戦争を学習しに行きました。日野市立三沢中学校2年 山崎涼です。

ひめゆりの塔とひめゆり平和祈念資料館、平和祈念公園を見学に行きました。ひめゆりの塔は、戦争に動員され亡くなってしまったひめゆり学徒隊の慰霊塔です。

ひめゆり学徒隊は15歳から19歳の女子学生が陸軍病院などで看護の補助業務をするために働いていた集団です。僕は14歳です。資料館での展示から僕と年齢もあまり変わらない学生が3か月でたくさん亡くなったことがわかりました。

僕はそうでもないのですが、僕の同級生の女子はとてもしっかりとしています。きっとこの時代の女子も、責任感も強くて、一生懸命に任務をこなそうとがんばっていたんじゃないかなと思いました。

ひめゆりの塔は外科の病院の跡に作られています。病院といっても自然の洞窟の中です。沖縄ではガマというそうです。

資料館の中には洞窟の断面やけがをした人が寝る二段ベッドのジオラマなどがありました。

洞窟の中での暗くてジメジメとしている生活を想像してみました。食事は1日に1回一口だけのおにぎりだけ、水もほとんど飲めなかったそうです。お風呂もないし、トイレもない。布団の上で寝ることもできません。けがをした人や病人がたくさんいて血や膿や体臭などが入り混じったすさまじい臭いの中、とてもじゃないですが、想像できなくなりました。

先日職場体験で僕はスーパーの品出しをさせてもらいました。毎日学校で先生から勉強を聞くだけでも大変だと思っていたのですが、それとは比べ物にならないくらい職場体験はとても疲れしました。

ひめゆり学徒隊は家族と離れて暮らしている上に、この奥深い洞窟の中、食べるものも、水も十分でなく、人の生死に関わる仕事をし、目の前にいる人、友達が亡くなっていくのを見るのは耐えられないと思いました。

資料館には壁いっぱい亡くなった女子学生の写真がパネルで埋め尽くされていました。1枚1枚に名前、年齢、どんな状況で亡くなったのか、学生時代どんなことが得意だったのかなどが書かれていました。みんな僕と同じくらいの年で笑顔の写真でした。戦争の時代、あの洞窟の中でこの笑顔は

あったのかな。家族と会いたかっただろうな。すごく怖かっただろうなと思いました。

この文章は資料館の壁に書いてありました。「『太陽の下で大手を振って歩きたい』『水が飲みたい、水、水』『お母さん、お母さん』学友の声が聞こえます。私たちは真相を知らずに戦場へ出ていきました。戦争は命あるあらゆるものを殺すむごいものです。私たちは一人ひとりの体験をとおして知った戦争の実体を語り続けます。」と書いてあります。僕は太陽の下で大手を振って歩いたり、好きな時に水を飲んだり、母に話しかけたり、いつでもできます。

当たり前の方ができていることが平和なんだと思いました。資料館にはたくさんの千羽鶴がありました。たくさんの方が平和を祈っていることを感じました。ネットやテレビなどで戦争をしたらいいとか戦争をしたいとか気軽に言う人もいますが、絶対にしてはいけません。今回この沖縄で強く思いました。

ご清聴ありがとうございました。

## 発表資料

### 沖縄での戦争を学ぶ に

日野市立三沢中学校 2年  
山崎 涼  
保護者 山崎 理恵

#### ひめゆり学徒隊について

当時15歳から19歳の女学生240名が従軍看護婦として戦争に参加しました。

半分以上の136名が命を失いました。

そのうち107名が戦争解散後に亡くなりました。



おとめの像

1945年 3月 ひめゆり学徒隊動員  
6月18日 解散命令（戦場に放り出された）  
6月19日 第3外科壕（ひめゆりの塔）のガス弾投下

#### ひめゆりの塔の見学



ひめゆりの塔

「ひめゆり学徒隊」の慰霊塔



#### ひめゆり学徒隊の戦争前の写真



陸軍の外科病院の壕跡

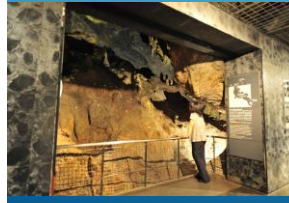


この穴から壕へ出入りしていました。



二段ベッドのジオラマ

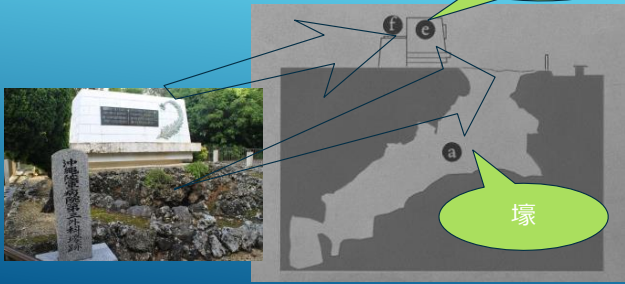
壕（洞窟）の一部



ひめゆりの塔前の穴からの断面図

ひめゆりの塔

壕



ひめゆり学徒隊の顔写真



太陽の下で天手を振って歩きた。  
水が飲みたい。水。水。  
お母さん、お母さん。  
学友の音が聞こえます  
私たちは  
真相を知らずに  
戦場へ出て行きました  
戦争は  
命もあらゆるものを殺す  
むごいものです  
私たちは  
一人ひとりの体験をおして知った  
戦争の実体を語り続けます

たくさんの千羽鶴

ひめゆり平和祈念資料館の中庭



ご清聴ありがとうございました

# 派遣者発表 長崎



## 一瞬で変わった長崎

私は8月8日から10日に長崎へ行きました。平和祈念式典の会場では、大きな三羽の折り鶴と平和祈念像が平和の大切さについて語っています。

原爆資料館には、原爆が落とされた11時2分で止まったままの壊れた時計、焼けた人の死体、顔が火傷でただれてしまった人の写真がありました。それを見ても、私はあまり死体だということがわかりませんでした。

真っ黒に焼けた死体は、まるで銅像のようでした。これが人間だったのだと思うととても怖くなりました。途中で資料館を出たくなりました。写真でありながらもそう感じさせるほど戦争は恐ろしいのです。

これは山王神社の一本柱の鳥居です。爆心地からおよそ800メートル離れた場所に立っています。原爆の爆風で片方の柱が吹き飛ばされました。神社の被ばくしたクスノキの中には今も、飛んできた石がいくつも入っています。飛んできた石によって、クスノキには大きな穴があいてしまいました。

式典では、被爆者代表の方が「日本政府が核兵器禁止条約に署名しないのは残念でなりません。」と訴えていました。私はそれを聞いて、世界で唯一原子爆弾が落とされた国なのになぜ署名しないのか不思議に思いました。

8日に行われた「平和の灯コンサート」では、たくさんの高校生たちがボランティアをしていました。若い人たちが中心となって活動することで、平和の大切さを未来に伝えよりよい世界を作ろうとしているのです。私も平和への思いを書いたキャンドルを作りました。皆の笑顔が絶えない平和な世界にしていきたいです。

### 発表資料

平成30年度 日野市平和派遣事業

#### 「一瞬で変わった長崎」



平和祈念像と折り鶴

1945年8月9日 午前11時02分  
長崎に原子爆弾が落とされ



7万以上の人々が犠牲となった



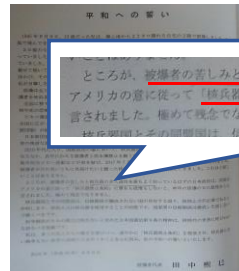
黒焦げとなった街と人々

原爆による被害者数  
(1945年12月末までの推定)  
死者 73,884名  
負傷者 74,909名



山王神社の一本柱鳥居

飛んできた石によって  
穴が開いたクスノキ



「なぜ、  
日本は核兵器禁止条約に  
賛成しない？」

平和の灯コンサートの模様



「みんなの笑顔が絶えない平和な世界」  
を私たちが作っていく







# 派遣者発表 広島



1945年8月6日、午前8時15分。これは、広島に原爆が落とされた時間です。広島は世界で初めて原爆が落とされました。

広島に落ちたのはエノラゲイ号のリトルボーイという種類の核です。長さ3メートルの大きさですが爆心地から3キロメートルもの、広い地域に大きな被害をもたらしました。死者14万人でした。すごく恐ろしい兵器だと思います。

焼け野原で残った建物の一つが原爆ドームです。1発の爆弾で、このように骨組みだけの崩れた建物になってしまったのを見て、核兵器はいろんな人の幸せを奪う最悪な兵器だと思いました。

これは、アオギリの木です。このアオギリは、原爆のとき、爆心地から1.3キロ離れた所に生えていました。爆心地の方向に遮るものがなかったため、木の幹の半分が焼けてしまい、葉っぱも枝も、全てなくなってしまいました。それでも、力強く生き抜いて、その姿は、当時の人に生きる勇気を与えていたそうです。

これは、地球上から核兵器がなくなる日まで絶やすことなく燃え続ける平和の灯です。この灯が消える日がくるように僕たちは戦争の恐ろしさや核がなくなるように広島の想いを伝えていかなければならないと思いました。

原爆の子の像には、小学校の子供たちや世界各国の人から届いた祈りを込めた、おり鶴が捧げられています。像の下には、次のようなメッセージが書かれていました。

「これは、ぼくらの叫びです これは、私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」

広島市内のお店では、平和への願いを込めて、おり鶴を呼び掛けていました。出来ることをやっていく取り組みは大切だと思います。僕も、家族皆で一生懸命折りました。

おり鶴を折りながら、今回の広島派遣を思い返しました。戦争や兵器は、人々の幸せを奪うものです。世界から戦争や核兵器がなくなり、平和の灯が消える日がくるように、僕たちはみんなに戦争の恐ろしさを伝えていこうと思いました。

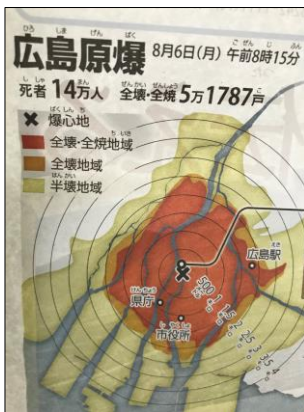
平成30年度 日野市派遣事業 広島



横須賀 悠人

この度の豪雨により被災された皆さま方に心よりお見舞い申し上げます

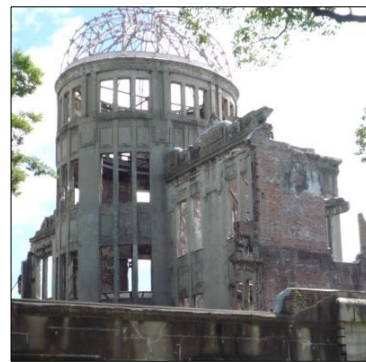
1945年8月6日  
午前8時15分



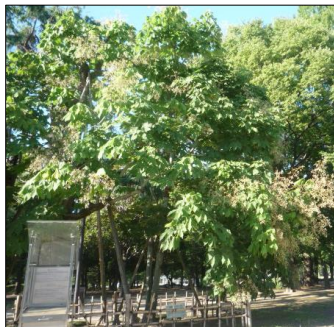
爆心地上空



死者14万人



原ばくドーム



アオギリの木



平和の灯



原爆の子の像



豊田小学校4年の須藤光琉です。ぼくは平和派遣事業で広島に行きました。学習してきたことを報告します。

ぼくはまず被爆した建物を見ました。1つ目は爆心地から380mの所にある日本銀行広島支店です。銀行の建物は被害を受けたけどたった2日で業務を開始したそうです。

2つ目は爆心地から460mの所にある袋町小学校です。ここは被爆した後、救護所になってたくさんのけが人を受け入れたそうです。小学校を救護所にしなければいけないほど多くのけが人がいたということだと思います。

3つ目は爆心地から160mの所にある原爆ドームです。昔の写真を見るととても頑丈そうな建物だったのに、周りにはがれきがたくさんあって骨組みしか残っていなかったの、すごい威力だったんだと感じました。

4つ目は爆心地から170mの所にあるレストハウスです。レストハウスの地上階にいた人たちは亡くなってしまいましたが、地下にいた一人だけは助かったそうです。もし自分が一人だけ生き残ったらきっと死にたいと考えたと思います。

ぼくは展示室で、8時15分で止まった腕時計や8分の1の大きさの原子爆弾、変形したガラスびんも見ました。原子爆弾の大きさは意外と小さくて3m強でした。でも、被害は半径2kmにもおよび、14万人くらいの人々の命が失われたと知って改めて原爆の恐ろしさと威力を知ることができました。

失ったのは人の命だけではありません。普段の生活や家族、そして自然までもが失われました。広島に住んでいる普通の人の命や生活など、戦争に関係のないものまでうばいました。

ぼくは広島に行く前の事前学習で都内にあるしょうけい館、昭和館、平和祈念展示資料館、靖国神社、遊就館（ゆうしゅうかん）にも行きました。それ以外にも戦争に関する映画を見たり、新聞記事を読んだりもしましたが、この平和派遣事業を通して、実際に広島に行かなくてはわからないことがたくさんあるんだと思いました。広島では色々なところにたくさんの千羽鶴がありました。戦争を体験した人やその家族、戦争を経験していないぼくたちや外国の人々まで、本当にたくさんの人が一羽一羽に平和への願いを込めているのだなと感じました。ぼくは、戦争を体験していませんが、もう二度と同じ過ちを繰り返さないために今回学んだことをみんなに伝えていきたいです。

発表資料



日本銀行広島支店



袋町小学校



原爆ドーム



レストハウス



みなさんは、『はだしのゲン』というお話を知っていますか？このお話は広島に原爆が落とされてから人々が一生懸命に生き抜くお話です。私はこれを読んで原爆のことに強く衝撃を受けたので今回広島に行かせてもらいました。

今から73年前、1945年8月6日午前8時15分に人類初めての原子爆弾が広島に落とされた。

赤白黄といろいろな色が空に映っていた。そしてその瞬間広島は広島ではなく地獄の広島に変わっていたのだ。とても強い光と風と熱と大量の放射線で沢山の命をうばい広い範囲に渡って町を破壊した。その年の終わりまでに14万人もの人が命を落としたと言われている。それまでの普通の暮らしが一瞬のうちに奪われたのだ。

平和祈念資料館では、真っ黒に焦げたお弁当箱や三輪車など、被爆者の人々が身に着けていた物が展示されていた。その中で一番衝撃を受けたのは血に染まったワンピースだ。私がもしこの時代に生まれていたらと思うと怖くて見ることもできず、しばらく体が動かなくなった。

そして時計は8時15分で止まっている。この時、この瞬間、沢山の人の命を奪ったのだ。これらのものは文字からではわからない原爆の恐ろしさを私に教えてくれた。

70年間草木が生えないと言われていた。そしてあたり一面焼け野原だったところが今はビル、マンションになっている。信じられない。でも、ここには亡くなった人々が沢山いる、その事を思っていないといけない。

たった一個の爆弾が沢山の命を奪った。その事を思って生きていかなければいけない。

そして世界中の人々が願っている。この世から戦争を無くしてくれと。核兵器を無くしてくれと。

世界中の人々が願っている。みんなに平和が訪れるようにと。

発表資料

被爆前の広島の様子



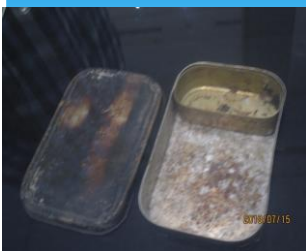
そこには人々の暮らしがありました



被爆前の原爆ドーム(産業奨励館)



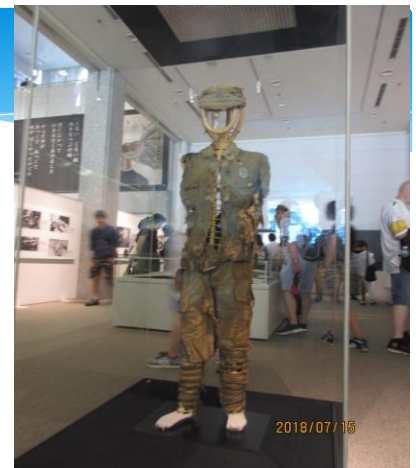
弁当箱だけが残された



三歳の子が三輪車に乗ったまま被爆



中学生の遺品





大やけどをおい、無数のガラス片が体に突き刺さっていた



8時15分で止まっている



広島市内の9割が破壊された



被爆後の原爆ドーム



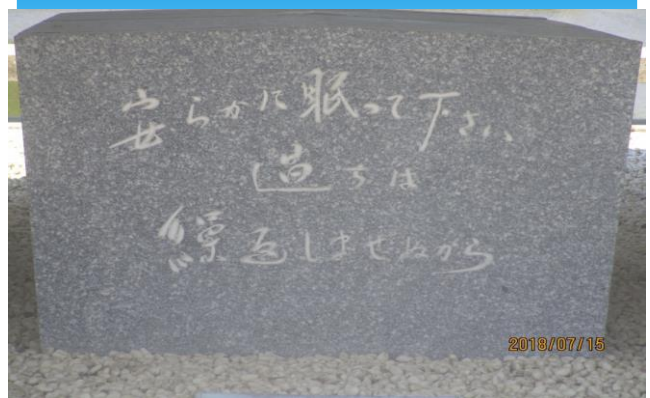
現在の広島



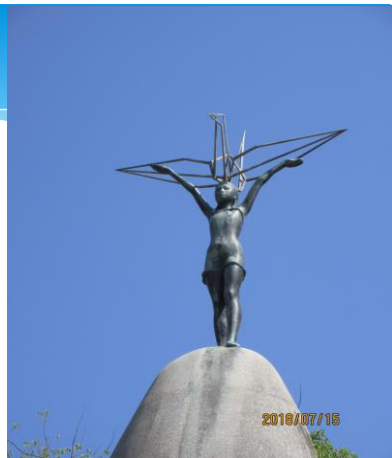
原爆死没者慰霊碑



安らかに眠って下さい 過ちは 繰返ませぬから



平和へ向かって



僕は、おばあちゃんの生まれた広島を知るため、この平和派遣に応募しました。広島の平和関連施設で調べてみると、原爆ドーム以外にも毒ガス資料館や大和ミュージアムなどがあることがわかり訪問しました。

#### ① 大久野島 毒ガス資料館

広島空港から一時間ほど車で南に行くと忠海港があり、そこからフェリーで10分ほどで大久野島に着きます。

この島は、澄んだ海に囲まれ、うきぎがたくさんいて、今は観光地になっていますが、第一次世界大戦が始まると化学兵器を製造・保有する軍事施設が作られ、地図から消された島です。この施設で従事した人々は戦後長く健康被害に苦しめられました。また、化学兵器の使用により、多くの人が命を落としました。

#### ② 大和ミュージアム

この施設のある呉は軍港だったため、何度も空襲を受けました。

日本の最新技術を詰め込んだ当時世界最大の246mの軍艦。その1/10サイズの模型がありました。大和を作るときの技術が戦後の復興の基になっていて、産業遺産になっているものがたくさん展示されていました。

#### ③ 原爆投下前後の広島

左が原爆投下前の広島です。左上の丸が爆心地です。

73年前の8月6日、相生橋を狙った原子爆弾は上空580mのところで爆発しました。その瞬間、ものすごい圧力をもった爆風が発生しました。爆心地から500mのところでも1m四方に19トン（車15台分）という力で、ほとんどの物が押しつぶされたり、ふきとばされたりし、数秒後には3000度から4000度という熱風が吹きつけ、また、その熱風による火事、降り注いだ放射線による影響で、たくさんの人が亡くなりました。

#### ④ 現在の広島

現在の京橋川と比治山の展望台から広島市内です。

あの日、景色が一瞬で変わってしまった広島。川にはたくさんの死体が浮き、建物の下敷きになったひとや、道には大やけどをした、人とは思えない人がさまよい、地獄です。

この穏やかな川や景色からは考えられない街になっていました。

## ⑤ 平和記念公園

8月6日の記念式典に向けての会場準備が行われていました。日本だけでなく、外国からもたくさんの方が訪れ、手を合せていました。また、平和を願う折鶴がたくさんありました。

⑥ 平和記念公園の中に、被爆アオギリがあります。被爆し幹に大やけどを負ったにもかかわらず、翌年には新しい芽を出し、人々に再生する勇気を与えた木です。

ぼくがお話を聞いた篠田さんは、86歳です。亡くなられたアオギリ伝承者の沼田さんの遺志を継いで、1年前に語り部になりました。とても優しく、元気な方です。原爆の時の街の悲惨な様子、助けられなかった友達、原爆で亡くなられたおねえさん、弟さんのお話をされるときの辛そうな表情が心に残りました。

⑦ その被爆アオギリから芽吹いた苗を、広島市は《被爆アオギリ2世》として希望団体に配布しています。平和を望むたくさんの方の団体の手に渡り、学校や施設の庭で大きく育っています。原爆投下当時のアメリカ大統領トルーマンの孫により、トルーマン図書館にも平和を願いアオギリ2世が植えられています。

いろいろなところでこの木を見る人が、平和への思いを強く持ってくれることを願います。

## ⑧ ヒロシマノートより

語り部の篠田さんから頂いた<ヒロシマノート>という冊子にこのような文章があります。

戦争はいらない。 飢えはいらない。 暴力や差別はいらない。

私たちのほしいのはただ平和だけ。

生きて、育って、学ぶことのできる平和がほしい。

生きて、育って、遊ぶことのできる平和がほしい。

生きて、育って、働くことのできる平和がほしい。

私たちには素晴らしい人生を作る権利がある。

なのに今、兵器庫に武器はあふれ、軍靴の音が世界を支配する。

核戦争は百万のヒロシマ・ナガサキをつくりだすだろう。

私たちは「最後のこども」になりたくない

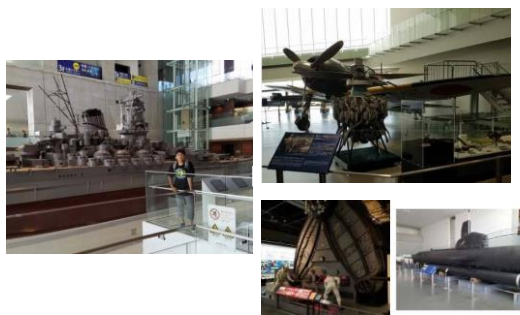
ぼくがいま、学校へ行ったり、遊んだり、好きなものを食べたり、楽しく生活できているのは、戦争で亡くなった命や、大変な思いをした人がいたか

らです。みんなが安心して生活をしていくためには、絶対に戦争になってほしくないと思います。広島に戦没者慰霊碑に〈過ちは繰り返しませんから〉とあります。13歳の僕に何が出来るか、まだ、大きなことはできないかもしれないけど、過去のこととしてみんなが無関心にならないために一歩踏み出すことが大切だと86歳の篠田さんに教えていただきました。

**発表資料**

**平和派遣事業;広島**

**呉大和ミュージアム**



**大久野島のきれいな海**

・毒ガス資料館

・大久野島の海とウサギ



**原爆投下前後の広島の街**



**現在の広島の風景**

・京橋川沿い

・比治山の展望台から



**平和記念公園**



## 平和記念公園内の被爆アオギリ



## 被爆アオギリ2世



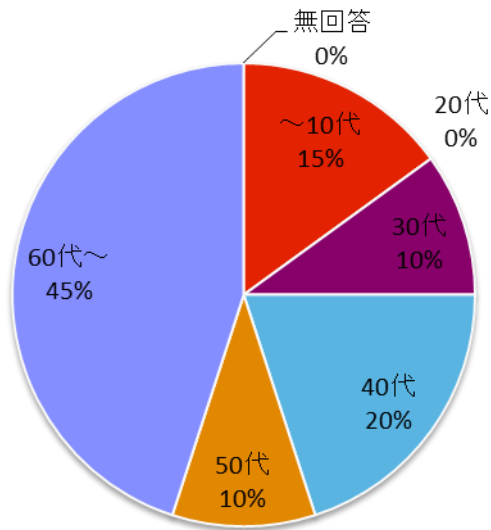
## ヒロシマノートより

戦争はいらない。  
飢えはいらない。  
暴力や差別はいらない。  
私たちのほしいのはただ平和だけ。  
生きて、育って、学ぶことのできる平和がほしい。  
生きて、育って、遊ぶことのできる平和がほしい。  
生きて、育って、働くことのできる平和がほしい。  
私たちには素晴らしい人生を作る権利がある。  
なのに今、兵器庫に武器はあふれ、軍靴の音が世界を支配する。  
核戦争は百万のヒロシマ・ナガサキをつくりだすだろう。  
(中略)  
私たちは「最後のこども」になりたくない



### 3 来場者アンケート

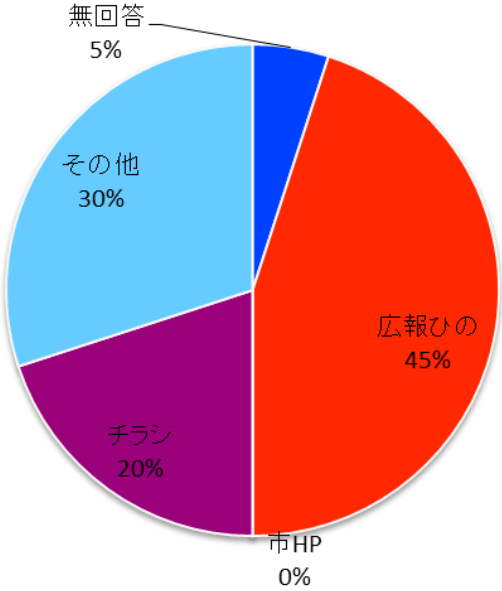
#### (1) 御来場者の年齢層



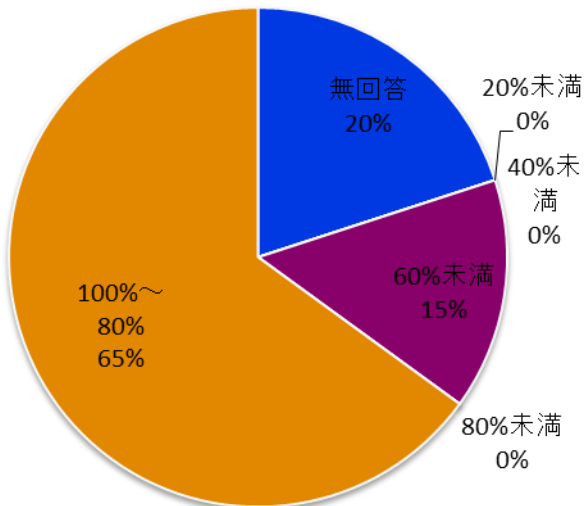
＜担当者コメント＞  
50代、60代以上の方で半数以上を占めました。一方で20代の方がいらっしゃるらず、幅広い年齢の方に来ていただけるようにしていきたいと思います。

#### (2) イベントを知ったメディア

＜担当者コメント＞  
広報ひのにより報告会、映画の集いを認知された方が圧倒的多数を占めました。(1)の課題解決のための参考とさせていただきたいと思えます。



#### (3) 満足度



＜担当者コメント＞  
多くの方にご満足いただけましたが、自由記載欄に「もっと多くの方にこの事業を広めてもらいたい」などのお声を頂きました。より効果的な広報に努めていきたいです。

## 4 日野市民憲章／日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

### 日野市民憲章

昭和 58 年 1 月 1 日制定

わたくしたち日野市民は、多摩川・浅川につづく平野と丘陵の自然環境に恵まれたこのまちを、生活の中のふるさとと考へ、みんなのしあわせのためにこの市民憲章を定めます。

- 1 元気に働き いきいきとして 心ゆたかなまちをつくりましょう
- 1 手をつなぎ ともに健康で 明るいまちをつくりましょう
- 1 自然を守り 緑と清流と太陽の 美しいまちをつくりましょう
- 1 人を大切にし 弱い人にも子どもにも 思いやりのあるまちをつくりましょう
- 1 文化をつちかい うるおいのある 平和なまちをつくりましょう

### 日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和 57 年 10 月 8 日議決

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもつてしても、もはやその拡大を止められない事態となつている。

ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。

日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。





平成 30 年度日野市平和事業 平和派遣事業成果報告書<沖縄・長崎・広島>

---

平成 31 年 3 月 28 日 発行

発 行 **日野市**

印 刷 **システム印刷(株)**

編 集 **日野市総務部総務課**

東京都日野市神明一丁目 12 番地の 1

電話 (042) 514-8128

---

